



2025年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日
東

上場会社名 株式会社Waqoo 上場取引所
コード番号 4937 URL <https://waqoo.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐俣 文平
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 古谷 恵輔 (TEL) 03-6805-4600
定時株主総会開催予定日 2025年12月23日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年12月23日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期の連結業績 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	1,960	0.9	150	169.0	152	165.9	44	—
2024年9月期	1,943	12.6	56	△79.8	57	△80.1	△17	—

(注) 包括利益 2025年9月期 44百万円 (—%) 2024年9月期 △17百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	12.32	12.24	2.1	4.8	7.7
2024年9月期	△5.03	—	△1.2	2.4	2.9

(参考) 持分法投資損益 2025年9月期 一百万円 2024年9月期 一百万円

(注) 2024年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	3,199	2,091	65.1	591.15
2024年9月期	3,133	2,140	68.2	590.33

(参考) 自己資本 2025年9月期 2,082百万円 2024年9月期 2,136百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	136	△188	△150	1,302
2024年9月期	48	△75	112	1,505

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,345	19.6	304	101.5	294	93.5	184	319.0	52.44

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社(社名)ー

除外 一社(社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年9月期	3,622,668株	2024年9月期	3,618,928株
② 期末自己株式数	2025年9月期	100,023株	2024年9月期	23株
③ 期中平均株式数	2025年9月期	3,578,545株	2024年9月期	3,463,667株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年9月期の個別業績(2024年10月1日~2025年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	1,342	△15.8	△75	—	△42	—	△44	—
2024年9月期	1,595	△6.0	△53	—	△27	—	△30	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期	△12.56	—
2024年9月期	△8.77	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	2,704	1,993	73.4	563.24
2024年9月期	2,940	2,131	72.3	587.77

(参考) 自己資本 2025年9月期 1,984百万円 2024年9月期 2,127百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴う個人消費の増加やインバウンド需要の拡大等により景気回復への期待が高まっているものの、依然として不安定な海外情勢の中、米国の関税政策の不確実性も加わるなど、先行きが不透明な状況にて推移しております。

このような状況の下、当社グループにおいては、祖業であるD2C (Direct to Consumer) 事業で培ってきたノウハウを活用して、再生医療を中心とする医療領域への展開を強化した上で、新しいプロダクトを創出するメーカー機能と市場開拓を推し進めるメディカルサポートの機能の両軸の経営に取り組んでまいりました。

その結果、当連結累計期間における当社グループの業績については、D2C事業において広告投資を抑止したことで新規顧客の獲得が下回り売上高は弱含んで推移したものの、主としてメディカルサポート事業における原材料販売が好調に推移したことで、前年同期及び期初計画の各段階利益を上回る結果となりました。

各セグメントの概況は次のとおりです。

(メディカルサポート事業)

メディカルサポート事業においては、主力の「血液由来加工サービス」の事業において、営業体制の強化のための積極的な人的投資（新規採用）を図ったことにより、既存の提携院への情報提供や業務連携が強固になり受注件数は着実に伸長いたしました。新規の提携院の獲得においては、地域特性を鑑みた営業代理店の活用を行ったことで提携院数は堅調に増加いたしました。

また、セルプロジャパンを中心とした「原料販売事業」においては、安全性・品質面において高い信頼を得られていることを背景として、新規のOEM製品の受注数が伸長し、既存顧客との安定した製品取引と相まって、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、同事業における当連結累計期間のセグメント売上高は999,012千円（前年同期比59.3%増）、セグメント利益は216,103千円（前年同期比237.7%増）となりました。

(D2C事業)

D2C事業においては、顧客獲得単価の上昇を踏まえ、LTV最大化を重視する方針への戦略的転換を図り、広告投資を抑制いたしました。その結果、新規顧客の獲得は想定を下回ったものの、CRM施策の強化によりロイヤルカスタマーの購買継続率は堅調に推移し、顧客単価の維持にもつながりました。

この結果、同事業における当連結累計期間の売上高は952,586千円（前年同期比27.6%減）、セグメント利益は294,801千円（前年同期比23.5%減）となりました。

以上の結果、当連結会計期間の売上高は1,960,902千円（前年同期比0.9%増）、営業利益150,940千円（前年同期比169.0%増）、経常利益152,398千円（前年同期比165.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益44,090千円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失17,405千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて72,673千円減少し、1,781,888千円となりました。主な要因としましては、売掛金の増加127,317千円があった一方で、現金及び預金の減少203,029千円があったことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて138,324千円増加し、1,417,275千円となりました。主な要因としましては、のれんの償却による減少122,383千円があった一方で、建設仮勘定の増加244,237千円があったことによるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて94,044千円増加し、691,728千円となりました。主な要因としましては、未払金の増加69,991千円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて20,258千円増加し、415,785千円となりました。主な要因としましては、長期借入金の減少53,888千円があった一方で、資産除去債務の増加74,256千円があったことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末と比べて48,653千円減少し、2,091,650千円となりました。これは主に利益剰余金の増加44,090千円があった一方で、自己株式の取得による99,923千円の減少によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ203,029千円減少し、1,302,301千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は136,344千円（前連結会計年度は48,657千円の資金の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益152,398千円の計上、のれん償却額122,383千円、売上債権の増加による減少110,580千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は188,950千円（前連結会計年度は75,557千円の資金の支出）となりました。これは主に、有形固定資産購入による支出193,164千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は150,424千円（前連結会計年度は112,147千円の資金の収入）となりました。これは主に、長期借入による収入146,000千円、長期借入金の返済による支出198,371千円、自己株式の取得による支出99,923千円があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

日本経済は緩やかに回復傾向が見られるものの、地政学的リスクの高まりや原材料価格の上昇や円安を背景に、物価高が引き続き消費者の価値観や購買行動等に大きな影響を与えており、先行きの不透明感は払拭できない状況で推移するものと見込まれます。

そのような中、当社グループにつきましては、メディカルサポート事業を中心とした取り組みをグループ一体となって着実に推進することで、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

各セグメントの主な取り組みは、次のとおりです。

(メディカルサポート事業)

主力の「血液由来加工サービス」の事業においては、既存の提携医院における稼働率の飛躍的な向上を目指すために人材採用を加速させ営業体制の増強を図り、アップグレード版の「血液由来加工サービス」の導入促進を積極的に推進してまいります。

また、効率的な営業活動を果たすために、AI（Artificial Intelligence・人工知能の略）やBI（Business Intelligence・ビジネス・インテリジェンス）を本格活用し、蓄積した大量のデータを収集・分析・可視化し、営業面での意思決定の支援や綿密な情報連携を実現するシステムの構築に着手してまいります。

子会社のセルプロジヤパン株式会社においては、既存の顧客への新たな原材料や化粧品の販売を拡大させると共に、新規顧客の開拓にも積極的に取り組んでまいります。また、研究開発活動を推し進め、新しいサービスや製品等の開発を手掛けてまいります。

(D2C事業)

D2C事業においては、従来、広告宣伝費を積極的に投資し、事業の収益貢献を図ってまいりましたが、ロイヤルカスタマーに焦点を当てた施策や持続可能な売上基盤をモールド構築する等、今後はより一層のコスト効率やターゲティング精度の高いチャネルへの投資を心がけてまいります。また、既存顧客の更なる満足度の向上を図る施策等を企画し、実施していくことで、引き続き、高い購買継続率の維持に努めて、利益体質化を図ってまいります。

なお、当社グループの中長期的な企業価値の向上を目指すべく新設した「海外事業部」を中心に、今後、新しい製品・サービスをグローバル視点で捉えて展開してまいります。

海外企業との円滑なコミュニケーションを図り、当社が生み出した製品・サービスを積極的に導出する機会を作り、新しい収益の柱にするための取組を推進してまいります。

以上から、2026年9月期の連結業績予想は、売上高2,345,851千円、営業利益304,099千円、経常利益294,949千円、当期純利益184,717千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を適用することとしております。

なお、国際会計基準の適用に関しましては今後の国内外の諸情勢を鑑みて、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,505,331	1,302,301
売掛金	183,576	310,893
商品	79,169	63,946
製品	23,594	23,671
仕掛品	9,783	10,376
原材料及び貯蔵品	12,045	15,173
前払費用	15,711	28,917
その他	25,349	26,811
貸倒引当金	—	△204
流動資産合計	1,854,562	1,781,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,661	14,384
減価償却累計額	△557	△1,053
建物及び構築物（純額）	4,103	13,330
工具、器具及び備品	68,194	81,241
減価償却累計額	△28,139	△38,781
工具、器具及び備品（純額）	40,054	42,459
リース資産	505	505
減価償却累計額	△58	△159
リース資産（純額）	446	345
建設仮勘定	75,570	319,807
有形固定資産合計	120,174	375,943
無形固定資産		
のれん	1,132,047	1,009,663
その他	3,939	2,050
無形固定資産	1,135,987	1,011,714
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,607	5,255
敷金及び保証金	21,182	24,363
その他	840	840
貸倒引当金	△840	△840
投資その他の資産合計	22,789	29,618
固定資産合計	1,278,951	1,417,275
資産合計	3,133,514	3,199,164

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,082	4,183
短期借入金	190,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	198,371	199,888
未払金	51,105	121,097
未払法人税等	49,823	64,407
賞与引当金	—	10,231
その他	78,301	101,921
流動負債合計	597,683	691,728
固定負債		
長期借入金	395,027	341,139
資産除去債務	—	74,256
その他	500	390
固定負債合計	395,527	415,785
負債合計	993,211	1,107,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,632	54,567
資本剰余金	2,465,482	2,466,417
利益剰余金	△382,697	△338,607
自己株式	△54	△99,977
株主資本合計	2,136,362	2,082,400
新株予約権	3,940	9,249
純資産合計	2,140,303	2,091,650
負債純資産合計	3,133,514	3,199,164

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,943,404	1,960,902
売上原価	393,986	401,795
売上総利益	1,549,417	1,559,107
販売費及び一般管理費	1,493,302	1,408,166
営業利益	56,115	150,940
営業外収益		
受取利息	324	1,216
貸倒引当金戻入額	3,977	—
償却債権取立益	1,600	10,600
雑収入	738	1,549
営業外収益合計	6,641	13,366
営業外費用		
支払利息	5,075	8,600
支払手数料	—	2,479
雑損失	366	828
営業外費用合計	5,442	11,908
経常利益	57,313	152,398
税金等調整前当期純利益	57,313	152,398
法人税、住民税及び事業税	75,361	111,956
法人税等調整額	△641	△3,648
法人税等合計	74,719	108,307
当期純利益又は当期純損失(△)	△17,405	44,090
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△17,405	44,090

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△17,405	44,090
包括利益	△17,405	44,090
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△17,405	44,090

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	51,025	1,087,153	△365,291	△54	772,832	56	772,888
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	2,607	2,607			5,215		5,215
株式交換による増加		1,375,721			1,375,721		1,375,721
新株予約権の発行					—	3,883	3,883
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△17,405		△17,405		△17,405
自己株式の取得					—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—	—
当期変動額合計	2,607	1,378,329	△17,405	—	1,363,530	3,883	1,367,414
当期末残高	53,632	2,465,482	△382,697	△54	2,136,362	3,940	2,140,303

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	53,632	2,465,482	△382,697	△54	2,136,362	3,940	2,140,303
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	935	935			1,870		1,870
株式交換による増加					—		—
新株予約権の発行					—	5,309	5,309
親会社株主に帰属する当期純利益			44,090		44,090		44,090
自己株式の取得				△99,923	△99,923		△99,923
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—	—
当期変動額合計	935	935	44,090	△99,923	△53,962	5,309	△48,653
当期末残高	54,567	2,466,417	△338,607	△99,977	2,082,400	9,249	2,091,650

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	57,313	152,398
減価償却費	13,004	13,542
のれん償却額	91,787	122,383
貸倒引当金の増減額(△は減少)	840	△635
償却債権取立益	△1,600	△10,600
受取利息	△324	△1,216
支払利息	5,075	8,600
株式報酬費用	3,883	5,309
貸倒引当金繰入額(△は貸倒引当金戻入益)	△3,977	—
売上債権の増減額(△は増加)	△6,681	△110,580
棚卸資産の増減額(△は増加)	20,542	11,424
仕入債務の増減額(△は減少)	1,622	△25,898
前払費用の増減額(△は増加)	△6,956	△13,205
未払金の増減額(△は減少)	△50,617	69,991
未収消費税等の増減額(△は増加)	△23,609	31,424
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14,080	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	10,231
その他	6,074	△22,067
小計	92,297	241,101
利息及び配当金の受取額	312	1,216
利息の支払額	△5,075	△8,600
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△38,876	△97,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,657	136,344
投資活動によるキャッシュ・フロー		
償却債権の回収による収入	1,600	10,600
有形固定資産の取得による支出	△79,767	△193,164
貸付金の回収による収入	35,803	—
長期貸付けによる支出	△24,899	—
その他	△8,294	△6,385
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,557	△188,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	—
長期借入れによる収入	343,479	146,000
長期借入金の返済による支出	△256,547	△198,371
株式の発行による収入	5,215	1,870
自己株式の取得による支出	—	△99,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	112,147	△150,424
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	85,246	△203,029
現金及び現金同等物の期首残高	1,305,025	1,505,331
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	115,059	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,505,331	1,302,301

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当連結会計年度において、2025年3月7日開催の取締役会決議に基づく自己株式100,000株の取得を行いました。

この結果、当連結会計年度に自己株式が99,923千円増加し、当連結会計年度末において、自己株式が99,977千円となっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業部門を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「D2C事業」、「メディカルサポート事業」を2つの報告セグメントとしております。

「D2C事業」は、デジタルマーケティングを活用したオリジナルブランド(化粧品等)の企画・開発を行い、自社のECサイト等を通じた商品販売を行っております。

「メディカルサポート事業」は、再生医療領域における取組として、従来の整形外科領域に加え、AGA(男性型脱毛症)領域のクリニック等に対して「血液由来加工」の受託サービスの導入提案及び原料販売業務を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一です。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結損益 計算書 計上額 (注3)
	D2C事業	メディカル サポート事 業	計				
売上高							
通販	1,285,188	—	1,285,188	—	1,285,188	—	1,285,188
血液加工	—	279,400	279,400	—	279,400	—	279,400
原料販売	—	347,674	347,674	—	347,674	—	347,674
その他	31,141	—	31,141	—	31,141	—	31,141
顧客との契約から生 じる収益	1,316,329	627,074	1,943,404	—	1,943,404	—	1,943,404
外部顧客への 売上高	1,316,329	627,074	1,943,404	—	1,943,404	—	1,943,404
セグメント間の内 部売上高又は振替高	75	1,597	1,673	—	1,673	△1,673	—
計	1,316,404	628,672	1,945,077	—	1,945,077	△1,673	1,943,404
セグメント利益又は損 失(△)	385,502	64,001	449,504	—	449,504	△393,389	56,115
その他の項目							
減価償却費	4,736	7,730	12,466	—	12,466	745	13,212
のれんの償却額	—	91,787	91,787	—	91,787	—	91,787
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	—	79,933	79,933	—	79,933	322	80,255

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、海外事業であります

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額 393,389千円は主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. セグメント資産については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載をしております。

5. 減価償却費の調整額745千円の内容は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等に係る減価償却費であります。

6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額322千円の内容は、主に報告セグメントに帰属していない管理部門等に係る金額であります。

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結損益 計算書 計上額 (注3)
	D2C事業	メディカル サポート事業	計				
売上高							
通販	948,132	—	948,132	—	948,132	—	948,132
血液加工	—	364,405	364,405	—	364,405	—	364,405
原料販売	—	633,305	633,305	—	633,305	—	633,305
その他	4,454	1,301	5,755	9,303	15,058	—	15,058
顧客との契約から生 じる収益	952,586	999,012	1,951,599	9,303	1,960,902	—	1,960,902
外部顧客への売上高	952,586	999,012	1,951,599	9,303	1,960,902	—	1,960,902
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,492	1,492	—	1,492	△1,492	—
計	952,586	1,000,505	1,953,092	9,303	1,962,395	△1,492	1,960,902
セグメント利益又は損 失(△)	294,801	216,103	510,904	△27,634	483,269	△332,328	150,940
その他の項目							
減価償却費	1,743	11,117	12,860	—	12,860	682	13,542
のれんの償却額	—	122,383	122,383	—	122,383	—	122,383
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	—	262,284	262,284	—	262,284	4,723	267,008

- (注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、海外事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△332,328千円は主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
4. セグメント資産については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載をしております。
5. 減価償却費の調整額682千円の内容は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等に係る減価償却費であります。
6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額4,723千円の内容は、主に報告セグメントに帰属していない管理部門等に係る金額であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社はグローバル展開の推進を目的として「海外事業部」を新設いたしました。重要性が乏しいことから報告セグメントに含まれない「その他」としております。

なお前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

5. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	D2C事業	メディカルサポ ート事業	計	その他	連結財務諸表 計上額
当期末残高	—	1,132,047	1,132,047	—	1,132,047

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	D2C事業	メディカルサポ ート事業	計	その他	連結財務諸表 計上額
当期末残高	—	1,009,663	1,009,663	—	1,009,663

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	590.33円	591.15円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△5.03円	12.32円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	12.24円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△17,405	44,090
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (千円)	△17,405	44,090
普通株式の期中平均株式数(株) (株)	3,463,667	3,578,545
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数	－	3,740
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株 式の概要	－	新株予約権5種類(新株予約権 の数 66,777個)

(注) 前連結会計年度の希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(当社に対する公開買付け)

当社は、2025年11月13日開催の当社取締役会において、SBCメディカルグループ株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関し、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様が本公開買付けに応募するか否かについては、当社の株主の皆様のご判断に委ねる旨の決議をいたしました。

なお、当社株式は本日現在、東京証券取引所グロース市場に上場されておりますが、本公開買付けは当社株式の上場廃止を企図するものではなく、本公開買付け成立後も当社株式の東京証券取引所グロース市場への上場は維持されます。

内容の詳細につきましては、2025年11月13日付、「その他の関係会社であるSBCメディカルグループ株式会社による当社株券株式に対する公開買付けに関する意見表明のお知らせ」に記載のとおりです。